

## 授業実践3 人生の羅針盤を探せ

<ねらい> 人生の羅針盤とは、自分の人生のあり方生き方を示すもの。進路を考えるときに、自分の「好きなこと・したいこと・できること」（人生の羅針盤）を探ろうとするきっかけをつくる。

<キーワード>（板書事項）

自分の好きなこと、やってみたいこと、人生行路

<準備>

ワークシート、振り返り用紙、筆記用具

## インストラクション

今日の授業は、「人生の羅針盤を探せ」です。羅針盤とは何でしょう。これは自分の行く道（航路）を見定めるのに、いつも必要な道具のことですね。オリエンテーリングのときや登山に欠かせないのは、磁石でしょ。羅針盤はこの磁石と同じなのです。

ところで今日の課題「人生の羅針盤を探せ」は、いつもここにあります。

（頭または胸のあたりを指差す）

<板書>

「人生行路＝自分の進路（進む道、あり方生き方）を見定めるうえでいつもよりどころになるもの」という意味のことだと理解してください。

## エクササイズ

では、まず私の例を話しますね。

私は、小学校の時から先生になりたかったんです。父も教師をしていたのでその姿をみてなりたかったのかもしれませんが。しかしずっと数学の教師になりたかったんです。一時研究者になりたいと思っていた時期もありました。一生自分で食べていける女性でも一人で生きていけるような職業につきたかったんです。・・・というようにいろいろ自分のことを話す。

（教師の自己開示がモデルになるので、コンパクトに話す。生徒が教師に親近感をもつようになる。）

（自分の将来を立ち止まって考えたときのこと、そのとき何をどう考えたか、というポイントを押さえた話ができるとうい）

先生の話聞いて気がついたこと感じたことをいってみてください。

みんなはまだ16歳だからこそ、これから先をどんな風に生きていくかを考えることが大切です。それが、「人生の羅針盤」「夢先案内人」ってことですね。次のワークシートにいま、みんなが「好きだ」「やってみたい」ということを書き出してみよう。

（シートに記入）

できたら4人組になってジャンケンをして順番を決めます。

1番の人から順番にインタビューを受けます。

3人の人がそれぞれ、「あなたは何が好きですか。何がやりたいですか」とインタビューします。

### シェアリング

きょうの振り返りをします。

まず振り返り用紙に各自で書いてください。

それをもとに「気づいたこと、感じたこと」を話します。

先生が今とても気になっている言葉があります。これが結構、意味深なんです。

<板書>

「この人生にはあなたによってなされるのを待っている何かがある」

これを家に持ち帰って、家の人と話し合ってきてほしいんです。

もう一度この振り返り用紙にメモしてみましよう。

提出して終わりです。

## 「人生の羅針盤」ワークシート

( )組( )番( )

1 次の言葉のあいだに入るものを、思いつくかぎり書いてみよう。

A：私は（ぼくは）～が好きだ。

B：私は（ぼくは）～やってみたい。

### 「人生の羅針盤」振り返り用紙

（ ）組（ ）番（ ）

1 あてはまるところに で囲んでみよう。

今日の「人生の羅針盤」では

言葉の意味が

よくわかった ・ わかった ・ よくわからないはまだ

自分のことで

発見があった ・ 発見はなかった ・ よくわからない

友達の話から

友達の新しいことがわかった ・ 友達の意外なところが見えた

## 2 自由にまとめてみよう

あなたの好きなこと、やってみたいこと、ベスト3

あなたの「人生の羅針盤」ってなんだと思いますか？

## 3 最後に感想を書いてみよう。